

次世代火山研究・人材育成総合プロジェクト 概要

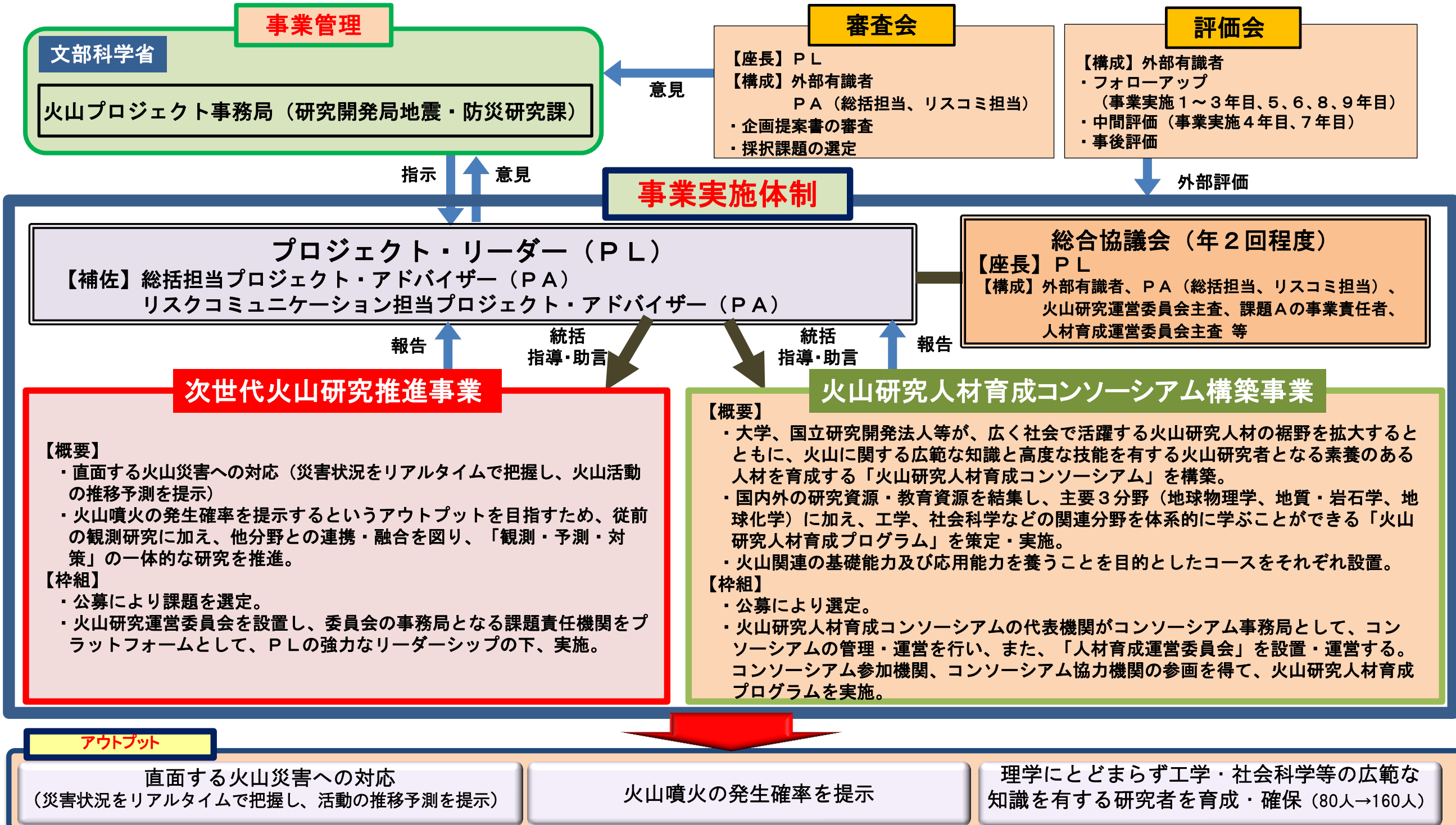
火山災害の軽減に貢献するため、他分野との連携・融合を図り、「観測・予測・対策」の一体的な研究と火山研究者の育成・確保を推進するため、下記2事業より構成

- ① 「次世代火山研究推進事業」 ⇒ 従前の観測研究に加え、「観測・予測・対策」の一体的な火山研究及び火山観測データの一元化流通の推進
- ② 「火山研究人材育成コンソーシアム構築事業」 ⇒ 火山に関する広範な知識と高度な技能を有する火山研究者となる素養のある人材を育成

事業期間：平成28年度～平成37年度（10年間）

また、以下のように1名のプロジェクト・リーダー、2名のプロジェクト・アドバイザーを設置する。

- プロジェクト・リーダー（PL） ⇒ 両事業の調整・進捗管理等、プロジェクト全体の統括、指導・助言を行う。
- 総括担当プロジェクト・アドバイザー（総括担当PA） ⇒ PLを補佐し、両事業の各課題について指導・助言を行う。
- リスクコミュニケーション担当プロジェクト・アドバイザー（リスコミ担当PA） ⇒ PLを補佐し、事業責任者等に対してリスコミに係る指導・助言を行う



次世代火山研究・人材育成総合プロジェクトの体制について

○プロジェクト・リーダー（PL）1名とプロジェクト・アドバイザー（PA）2名をそれぞれ選定。

PL：藤井敏嗣 NPO法人 環境防災総合政策研究機構 環境・防災研究所長

総括担当PA：西垣隆 科学技術振興機構科学技術振興調整費 プログラム主管

リスコミ担当PA：関谷直也 東京大学大学院情報学環総合防災情報研究センター 特任准教授

次世代火山研究推進事業(6件)

○課題B：「先端的な火山観測技術の開発」（国立大学法人東京大学地震研究所 森田裕一）

【概要】

火山噴火の発生確率の提示に資する観測技術及び火山災害の状況をリアルタイムで把握し、火山活動の推移予測の提示に資する観測技術の開発を行うため、4つのサブテーマの連携のもとに先端的な火山観測技術の開発を行う。

○課題C：「火山噴火の予測技術の開発」（国立大学法人北海道大学 中川光弘）

【概要】

火山噴火の発生確率の提示を行う手法を開発するため、3つのサブテーマの連携のもとに火山噴火の予測技術の開発を行う。

○課題D：「火山災害対策技術の開発」（国立研究開発法人防災科学技術研究所 中田節也）

【概要】

火山災害の状況をリアルタイムで把握し、火山活動の推移予測を提示するのに資するシステム等を開発するため、3つのサブテーマの連携のもとに火山災害対策技術の開発を行う。

○課題E①：「空中マイクロ波送電技術を用いた火山観測・監視装置の開発」（国立大学法人九州大学 松島健）

○課題E②：「位相シフト光パルス干渉法を用いた振動観測システムの総合的評価」（国立大学法人秋田大学 筒井智樹）

データの一元化

○課題A：「各種観測データの一元化」（国立研究開発法人防災科学技術研究所 上田英樹）

【概要】

本事業で新たに開発する観測技術による多項目の観測データ及び既存の観測機器による観測データを、一元化共有する仕組み・システムの開発を行う。

火山研究人材育成コンソーシアム構築事業(1件)

○課題：「火山研究人材育成コンソーシアム構築事業」（国立大学法人東北大学 西村太志）

【概要】

大学院修士課程学生を中心に、火山に関する広範な知識と高度な技能を有する火山研究者を育成するため、火山研究人材育成コンソーシアムを構築し、国内外の研究資源・教育資源を結集し、主要3分野（地球物理学、地質・岩石学、地球化学）に加え、工学、社会科学などの関連分野を体系的に学ぶことができる教育プログラムを策定・実施する。